

令和元年度 第1回和泉市公共交通利用活性化プロジェクト委員会
<議事概要>

【概要】

- ・日時：令和元年7月30日（火）14：00～15：00
- ・場所：和泉市コミュニティセンター1階中集会室
- ・欠席者：石野委員、中里委員

【次第】

1. あいさつ
2. 審議事項
 - 1) 和泉市地域公共交通網形成計画事業の進捗状況について
3. 報告案件
 - 1) 平成30年度コミュニティバス利用実績について
4. その他

【議事概要】

1. あいさつ

<藤原委員長より、挨拶>

本日は、お忙しい中、また、暑い中、令和元年度第1回委員会にお集まりいただき、また、平素より本市の公共交通行政をはじめ市政各般に、ご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。さて、本市では昨年度、和泉市地域公共交通網形成計画を策定したところである。本計画では、地域の公共交通の現状や問題、課題等の整理を踏まえて、公共交通ネットワーク全体を一体的に形づくり持続させることを目的に、コンパクトなまちづくりと連携し、地域全体の公共交通網のあり方や行政・交通事業者・住民等の役割を定めている。

本計画の基本理念は「自動車に過度に頼らず安全・快適に生活できるまち・いずみの実現」であり、今年度より基本方針に沿った事業を進めていく初年度となる。本日は計画推進事業の進捗状況について、多様な観点からご意見をいただき、ご審議いただきたい。

また、報告事項として、コミュニティバス「めぐ〜る」に関して、平成30年度の利用実績をご報告させていただく。公共交通の活性化が図られるよう、ご審議のほど、お願い申し上げます。

2. 委員紹介

<事務局より、委員及び事務局の紹介>

<議長に伊勢昇副委員長が推薦され、参加委員の承認を得た>

3. 審議事項

- 1) 和泉市地域公共交通網形成計画の進捗状況について
<事務局より、進捗状況一覧及び資料1から6に基づき説明>

伊勢議長：資料の説明について意見や質問はあるか。

伊勢議長：1点確認するが、進捗状況一覧でバツ印を付けているところは、事業を進めようとして上手く進んでいない訳ではなく、進めていないという解釈でよいのか。計画では随時という書き方をしているが。

事務局：今のところお示しでできない事業にバツ印を付けている。

伊勢議長：計画通りに進捗している解釈でよいか。

事務局：はい。

伊勢議長：内容が多岐にわたるが質問や意見はあるか。

伊勢議長：計画の中身に関してではないが私から一つコメントしたい。本計画では5年後の目標として、大きな指標が3つあり、鉄道・バスの利用率や公共交通の利便性に対する市民の満足度を目標に設定している。多岐にわたる施策を実施していくとなると、その大きな目標とは別に施策毎の有効性の有無について評価の仕方を考えてもらいたい。

榎本委員：コミュニティバスの利用実績で利用人数だけを記載しているが運行回数はどうか。一日何便くらい運行しているのか。

事務局：4ルートの運行で一日あたり阪和線沿線ルートは8便、小田・和気ルートは8便、山荘・和泉中央ルートは7便、光明池・和泉中央ルートは4便である。

榎本委員：稼働日数は365日ではないのか。

事務局：月曜日から土曜日のみの運行である。

伊勢議長：資料1から6の範囲で意見等はないか。

例えば、バスマップの校正として特に問題ないか、あるいは掲載した方が良い情報など、そういった細かな意見でも結構だが。

個人的に1点聞くが、資料1の南部地域のまちづくりと連携した交通ネットワークの検討ということで、事業概要は南部リージョンセンターを含めた交通ネットワークのあり方とある。これはルートの範囲内に道の駅が含まれるという解釈か。

事務局：計画の初年度スケジュールでは南部リージョンセンターを拠点とするとまでは言い切れる状況ではないが、南部地域全体を含めた交通のあり方として投げかけたイメージである。

伊勢議長：道の駅が小さな拠点として活用できるポテンシャルは結構あると思う。山奥から市中心部まで買い物に行くよりも、近くで買い物できる施設があれば道の駅が日常生活拠点となって生活しやすくなる。立地適正化計画の中で地域拠点として位置付けているかと思うが、具体的に施設の中身を今後替えていくことに対して、交通として具体的に関わって話を進める予定はあるのか。

事務局：今後の5年間の中にはそういったことも含めて、関係各課や交通事業者と話を進めていきたいと考えている。

伊勢議長：南部地域の公共交通対策事業スケジュールの中のアンケートの段階では、移動の頻度だけを捉えるということか。

事務局：はい。そのとおりです。

伊勢議長：ワークショップで聞けるのであれば、今の状態だから行かないのかもしれないわけで、施設の機能として充実すれば南部リージョンセンターまでバスで移動したいと思うかもしれない。是非、ワークショップの機会に聞いてもらいたい。

事務局：はい。投げかけは可能かと思えます

伊勢議長：他に意見はないか。

藤原委員長：南部地域のまちづくりで聞くが、南部地域の方が公共交通を使って市内に必要な所に行くことも考えられるが、総合スポーツセンター、道の駅、愛彩ランド、仏並・小川の農業用地など、スポーツを楽しむ、生活必需品等を買う、観光するといったこともある。特に総合スポーツセンターのテニスコートは、光明池テニスコートに比べると非常に利用率が低い。その理由としては、交通が悪いという意見を聞いたことがある。このアンケートについて、道の駅や新たにできるいちご農園など、それぞれ施設を利用される方への取り扱いはどうするのか。

事務局：今回のアンケートの中では、買い物などの行き先を記入していただく欄を設けている。マイカー利用の行き先なども含めて把握したいと考えている。

藤原委員長：南部地域のまちづくりを含めたアンケートとしてお願いしたい。

伊勢議長：バスマップはいつ頃出来上がるのか。

事務局：9月末の完成を予定しており、12月の広報紙に折り込み全戸配布し、公共施設への設置、また転入者等のMMに取り組んでいきたいと考えている。

伊勢議長：マップについて議論できるのは、今回のみということか。問い合わせ先は記載するのか。

事務局：議論は今回のみで、問い合わせ先は記載する。

伊勢議長：事務局の説明の中で、QRコードを入れということだが、スマートフォンをかざすと色々な時刻表を確認することができ、紙面上だけの情報だけではない。

事務局：マップイメージ案について、本委員会の意見を踏まえて、第2回の委員会を10月頃に予定していることから、その時に完成品を示すこととなる。今回、多様な視点から意見をいただきたい。

伊勢議長：委員会が10月、完成が9月とあるので、例えば完成した時点でPDF、または紙ベースで各委員に送付し、10月の委員会までに意見をもらうというのは。今はまだ白黒でサイズ感も分からず、掲載内容について問われても答えにくい。議論する時間を確保できればと考えるが。

事務局：可能だが、制作上、意見をもらう期間をあまり長く設けることはできない。

伊勢議長：確認する期間が短いことは仕方がない。一度くらいは委員に確認できればと考える。

事務局：校了の前段階で各委員に紙もしくはデータの方で送付する。

宮本委員：美術館前のバス停から、ららぽーと和泉へ路線を延長するのは難しいのか。

岩佐委員：いろいろな目的地へスムーズに各方面、各区間を結べればベストだが、運行するにあたり、乗務員の人件費やガソリン代等のたくさんの経費が必要となる。需要状況に応じながら、供給に応じて考えていきたい。美術館前からららぽー

と和泉の間が非常に短いため、少し頑張ればできるのではないかと思われる。弊社としても片側 2 車線でバス停を置くにあたって、バスベイというものが極めて必要性が高いこともあり設置も簡単にはできないケースがある。弊社として、まったく可能性がゼロとっていないので、いろいろな方の協力をいただき慎重に検討を重ねて注視していきたいと考える。

居石委員：マップの完成が 9 月末とあるが、これまでどれ位の議論を重ねてきたのか。

事務局：マップ作成については、今年の 3 月に策定した交通網形成計画の中で、公共交通に関する一元的な情報案内として取り組む事業となり、本委員会での審議が初回となる。先ほど議長より指摘のあったマップ校了前に各委員に確認いただき、意見等を反映したいと考える。

後藤委員：マップにコミュニティバスの時刻表を掲載するかと思うが、民間バスと地域バスについては、どのような情報提供を行うのか。

事務局：オレンジバス等の時刻表については、QR コードを掲載し情報提供を行う予定である。

居石委員：配布資料の中で南部地域の公共交通対策事業とあるが、市内に南部、北部、北西部、中部と地域の事情が随分と違う。私が住む鶴山台では、人が多い割に地域の周りを南海バスが走っているだけで、このルートを変更できないものか。移動手段の確保が困難となる方が段々増えており、地域の真ん中、逆向きに走らせることはできないかといった意見がある。公共交通全般で地域住民の方、あるいは校区単位の意見集約したものは反映されているか。

事務局：昨年度に計画を策定するにあたって、各町会・自治会単位で公共交通に関するヒアリングシートを配布し、町会・自治会で意見・要望等を集約した。集約された意見・要望をすべてその通りにすることは難しく、地域の声としては意見集約している。全町会・自治会に配布したが、返ってくる反応が少ないため、福祉総務課の地域福祉活動計画で校区毎にワークショップを行っており、その中であった移動に関する困りごと等の意見を情報提供いただいている。地域の声を聞かせていただくツールはある。

<特に意見なし>

伊勢議長：それでは他に意見が無いようなので、審議事項 1 について、資料の内容をご承認いただけたものとして、計画に沿って事業を進めていくことでよろしいか。

<一同承認>

4. 報告案件

1) 平成 30 年度コミュニティバス利用実績について

<事務局より、資料 8 に基づき報告>

伊勢議長：資料の説明について意見や質問はあるか。

榎本委員：1 便当たりの利用客を資料に記載した方が分かりやすい。費用としてどれ位かかっているのかも併せて検討していく意味で分かりやすい資料を出してもらいたい。

事務局：次回の報告から分かりやすい資料の作成に努めるよう南海バスと調整していきたい。

伊勢議長：これはバスの OD はとれているのか。どこで乗って、どこで降りているのかといったデータは。

秋元委員：区間は分かが、トータルの乗降人員を拾っている。

伊勢議長：細かい OD をとる意味で6月に乗降調査を行ったということか。

事務局：はい。

伊勢議長：次回には細かいデータとして、どこで乗って、どこで降りたか、何時に乗っているかが見えてくるということによいか。

事務局：今回の調査では、そこまでの詳細までとれてはいない。次回の委員会ではバス停留所毎の乗降者数の結果を報告したい。

伊勢議長：コミュニティバスは現金支払いのみだけか。なっちカードも使えるのか。

事務局：なっちカード等の IC カードも使える。

伊勢議長：今は支払いのうち、なっちカードは何パーセント位のシェアなのか。おおよそで結構だが。

秋元委員：めぐ～だけの数値は手元にないが、全体で言うと IC カードの定期外の中の利用率として約6～7割位はあるので、それに準ずるかたちではあるかと思う。

伊勢議長：事業者との関係もあり、できるかどうか分からないが、この委員会を離れて1年間海外留学を行ったが、向こうでは紙チケットのランニングコストがかかるように IC カードを推し進めようとして、IC カード利用者と現金で支払った者の料金格差をあえて設けて進めている。

これは個人的な意見だが、できればこの IC カードの普及を進めていくと利便性も高まることもそうだが、IC データの中に細かな乗降データが入っている。もし、コミュニティバスだけのデータのみいただけるのであれば、わざわざ年に1回、それも日が限られたサンプリングバイアスがでそうな調査に予算をかけずに済むのではないか。そのようなことも念頭において施策を展開できるのではないか。

伊勢議長：他に意見等がないので報告案件1については以上とする。

5. その他

後藤委員：新たに委員として加わった方もいるので、会議のあり方について話をする。昨年度に策定した地域公共交通網形成計画、いわゆる和泉市における公共交通のマスタープランを関係団体等の意見を聞いて作り、実行の管理を行っていくもので、今回は計画の事業内容の報告となっている。もう一つは、地域における乗合交通のあり方の検討というものがある。地域公共交通全体のことに対して、この場を通して議論することは非常に良いことだと考える。先ほど南海バスからも話があったが、民間でできるところは民間で、めぐ～のように公的資金を投入して運

行するものについては、民間ができないところを行政が補完していく。民間バス路線と公的資金を投入した運行が重複するような地域の要望を出すとなると、いわゆる競合、お客さんの取り合いとなる。公的資金を投入した運行が民間路線を圧迫することによって民間路線バスが減便、縮小となれば、さらに公的資金を投入していかなければならない。そのようなことにならないためにも役割分担を決めて、民間バス会社の中でできるだけ経営努力をして長く続けていき、公的資金を投入しためぐ～など、行政は民間バス会社が走らないところをしっかりと守って、公的資金を投入できる範囲で長く続けていけるような議論の場となる。例えば、コミュニティバスや計画にも記載のデマンド交通を議論するにあたって、協議が調えば道路運送法である程度の制度の緩和を受けることができる。そのため
の会議という位置付けで、市民や庁内関係課の委員からはそれぞれの立場から意見をいただければと思う。

浅井委員： 黒鳥校区内には、山荘から黒鳥小学校を通過して、めぐ～のバスが走っているが、山荘町内の中まで入っていない。これには道路の問題があるかと思う。実際、黒鳥では細い道が多く、大外を回っていると乗る人がゼロに近いのでは。バスが大きいのでマイクロであれば村中に入れるのではないか。高齢者が多いので、病院に行きたい時間帯にバスが無いなどの問題があり、黒鳥、山荘では坂道が多く、バス停まで行けない。バスを小型化して村中まで入ってもらえないかどうか検討課題としていただきたい。

事務局： ご意見として聞かせていただく。

－以上－